

ガビン先生と楽しく学ぼう

# 日本の古典文学

十やちよ、とうら話

令和五年度

## 第二回

令和五年十二月一日 金曜日

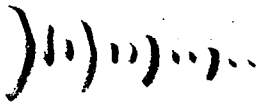
十時〜十一時三十分

東京都総合市民センターにて

伊藤雅敏



令和元年度からの走り



女に世にまはるるは、わが世にまはるるに似たり

人の心は、世にまはるるに似たり、世にまはるるに似たり

世にまはるるに似たり、世にまはるるに似たり

世にまはるるに似たり、世にまはるるに似たり

世にまはるるに似たり、世にまはるるに似たり

世にまはるるに似たり、世にまはるるに似たり

世にまはるるに似たり、世にまはるるに似たり

世にまはるるに似たり、世にまはるるに似たり

あふたれを、そとに

和泉武部日記

女はまた端に月ながめてゐたるほどに

女はまた端近の所で月を眺めていたところ

人の入り来れば簾うちおろしてゐれば

誰が入る来たので  
すねれをおろして座していると

例のたびごとに目馴れてもあらぬ

いつもながらお会いする度に  
目新しい宮の

御姿にて御直衣などのいたうなへ

お姿が見え  
御直衣など着慣れて羨ましく  
なすてゐるのが

たるしもをかしく見ゆものものたまはでただ

ことさらすばらしく  
思われる  
何もおっしゃらないで

御扇に文を置きて御使の取らで

ただ御扇に文を置くと  
御使いが受け取りずに

参りにければとてさし出でさせたまへり

帰ってしまったので「  
とおっしゃる文をおさし  
出させになった

女もの聞こえむにもほど遠くて便なれば

女はお話を申しあげようにも  
聞かされては具合が悪いので

扇をさし出でて取りつゝ

扇をさし出して受け取った

平字から鎌倉

公家女房

髪...垂髪

↓  
髪を  
びんぞ

短髪を  
頬の横に  
垂らす

= 既婚  
おは婚約  
のしり

下げ髪



今の平女お下りのよう

庶民は小袖だけ

丸服—女房装束  
中丸服—小袖  
常服—袴袴

物の目  
直衣  
④  
十五単

年若女子

細長

幼見は汗衫  
かざみ



運乃御時め、女衛更衣あし、

し、物集る、自らし、物集る、自らし、

あり、あり、あり、あり、あり、あり、

あり、あり、あり、あり、あり、あり、

あり、あり、あり、あり、あり、あり、

あり、あり、あり、あり、あり、あり、

あり、あり、あり、あり、あり、あり、

あり、あり、あり、あり、あり、あり、

あり、あり、あり、あり、あり、あり、

現物どうもに取地たるはふらわす

あまれなきをたはしと人比さ

まもえげかりと活世のためあまを

如く現物かたをありかんと他人を

あまをいふはくも現物かたを他人

のいふはくも現物かたを他人

たよりよきも母もたはしと人比さ

厚くあまれくたはしと人比さ

もくあまれくたはしと人比さ

源氏物語の構成？

- 1 桐壺 源氏誕生 12歳
- 2 帚木 17歳夏
- 3 空蝉 〇
- 4 夕顔 〇 秋冬
- 5 若紫 18歳
- 6 末摘花 〇 春 19歳春
- 7 紅葉賀 〇 秋 19歳夏
- 8 花宴 20歳春
- 9 葵 22歳 23歳春
- 10 賢木 〇 秋 25歳 夏
- 11 花散里 〇

- 12 須磨 26歳 27歳 春 春
- 13 明石 28歳 〇
- 14 漚標 28歳 29歳 冬 春
- 15 遠生 28歳 29歳 〇
- 16 潤屋 〇 秋
- 17 絵合 31歳春
- 18 桐風 〇 秋
- 19 薄雲 〇 冬 32歳秋
- 20 朝顔(種) 〇 冬
- 21 少女 33歳 35歳 〇
- 22 玉鬘 〇
- 23 初音 36歳正月
- 24 胡蝶 〇 春 夏
- 25 虫 〇 夏
- 26 常夏 〇 夏
- 27 篝火 〇 秋
- 28 野介 〇 秋
- 29 行幸 〇 冬 31歳春
- 30 藤袴 〇 秋
- 31 真木柱 〇 冬 38歳冬
- 32 梅枝 39歳冬
- 33 藤裏葉 〇 春 冬

前半：第一部

後半：第一部) ↓ 第二部)

34 若菜上 39歳冬-41歳春

42 勾宮 14歳-20歳

35 若菜下 春-41歳冬

43 紅梅 24歳

36 柏木 48歳平-秋

44 竹河 14歳16歳-23歳

37 横笛 49歳

45 橋姫 20歳-22歳

38 鈴虫 50歳夏-秋

46 椎本 23歳春-24歳夏

39 夕霧 秋-冬

47 総角 24歳秋-冬

40 御法 51歳

48 早蕨 25歳春

41 幻 52歳 一年間

49 宿木 春-26歳夏

? 「雲隠」

52 蜻蛉 27歳

本文内

50 東屋 26歳

光源六の

53 手習 27歳-28歳

先を暗く

51 浮舟 27歳春

54 若浮橋



彰子 8才 枕草子 13才 源氏物語 32才 更級日記 65才 平家物語 鳳凰堂

紫式部

宮仕えは清少納言が去った↓五年後

超まじめ、型にはまった身分、意識が高い

ニートだった経験 一日百を編み物にしていく丹念さ

優等生タイプ 顔で笑って心で泣いて

冷静な瞳 十深い知識

定子

〇二人は互いに面識はなかった

清少納言

得意顔 自慢ばかり 高慢ちき

生かじりの漢文を書き散らすいびな女

現実からかけ離れたありえない空間

関白

986年頃 宮仕え 定子の父の道隆が関白から目を付けられた

28歳 バツイチ十子持ち 父曾祖父は有名な歌人

売れっ子 YouTuber・有名ブロガー・インスタグラム・「いねたん

おしゃわな生活・感覚鋭い毒舌

「下衆と縁一重」下級貴族の家庭↓老後は田舎に下りて

葉物を干す生活

結婚あっせん広告塔

仕事と結婚の両方の獲得を目指す

「女たちよ」女房(侍女)になぞ出会いたいわらう

「男たちは」女房(侍女)だて結婚相手と悪くはない

「枕草子」の定子に献上①② 定子死後の思い出の記録

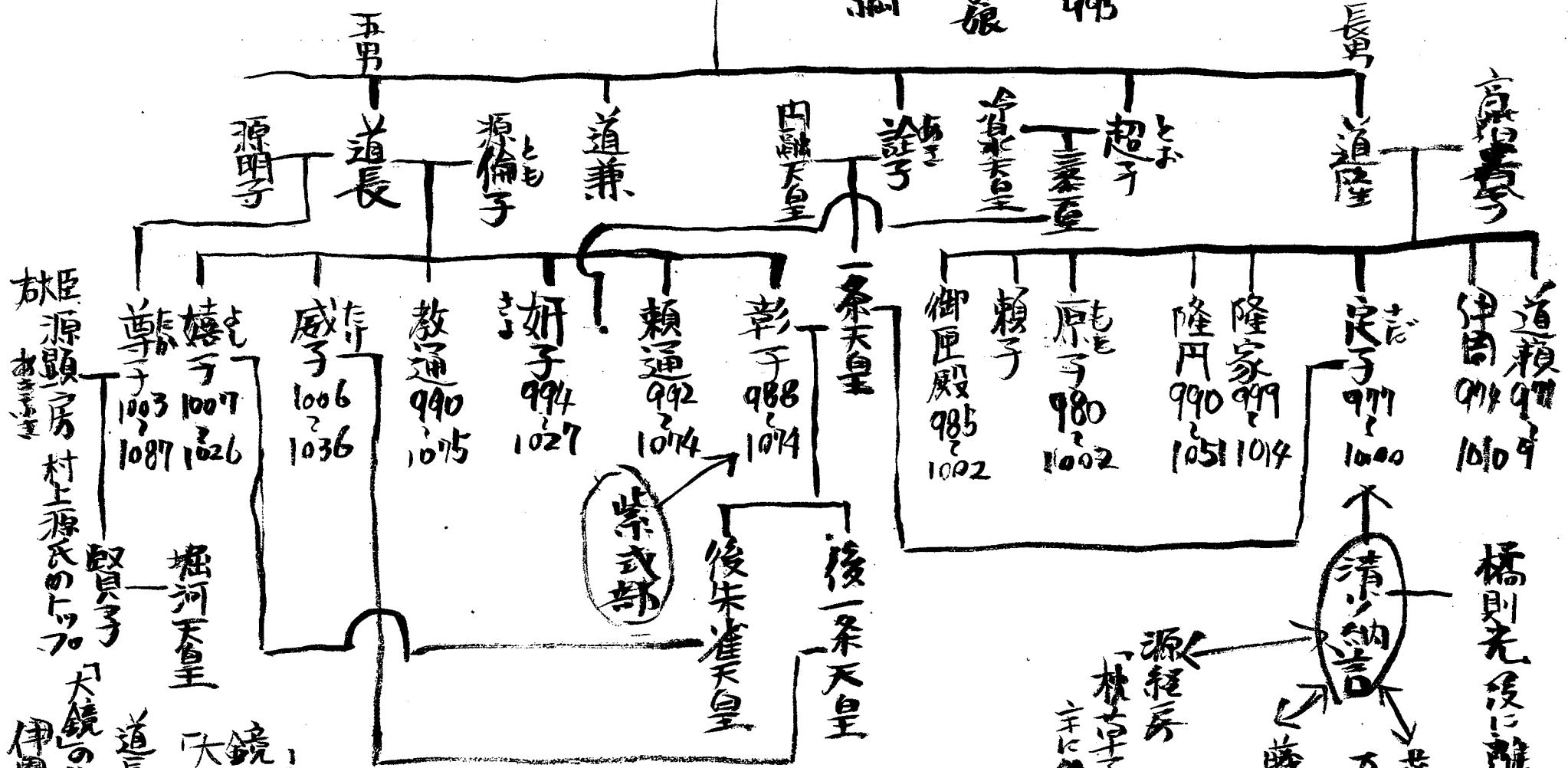
藤原家

蜻蛉日記  
道綱の母  
藤原倫実の娘

藤原兼家

時姫

有職故実



橋則光後に離婚

清少納言

源經房

林有子と  
主に参加

藤原春信  
藤原行成  
大の師

源顯房村上源氏のトッポ

堀河天皇

道長は好書  
大鏡の作者か  
伊周には冷淡

鏡  
天史公記  
述はた

